

# 「JAたかさき」によろこそ！

高崎市は、関東地方と信越地方を結ぶ、国道・高速道路や新幹線の分岐点となって、交通と産業の要所として古くから栄え、現在でも群馬県一の商業都市となっています。

また終戦直後から、市民オーケストラの“群馬交響楽団”が活動するなど、文化と芸術の香る都市でもあります。

平成21年6月に周辺6町村と合併して、現在では人口が37万人を越え県下一番になり、緑豊かな森林を含めた面積は459.16平方kmと、従来からの文化的で近代的な都市機能に加えて、豊かな自然も備えた都市となりました。

JAたかさき管内は、この緑豊かな高崎市の東南部に位置し、上毛三山（榛名山・妙義山・赤城山）の一つである榛名山を背後にした、関東平野北端の関東ローム層に覆われた肥沃な土壌で、様々な農作物が生産されています。

主な農産物は、古くから盛んな米（ゆめまつり）、小麦（きぬの波・さとのそら）をはじめとして、トマト・チンゲン菜・茄子・玉ネギ・ブロッコリーなどの野菜や、桃・梨等の果樹、舞茸・椎茸などの林産物、そして酪農や牛・豚等の畜産が盛んに行われています。

JAたかさきは、平成5年3月に2JAの合併により誕生して、さらに平成15年3月に1JAを合併して現在に至ります。



まちなか直売所から情報発信！

## JAたかさきの概要（2021年3月現在）

○ 設立（合併）	1993年3月1日
○ 出 資 金	21億7,743万円
○ 代 表 者	代表理事組合長 堀米 登（2021年5月29日より）
○ 組 合 員 数	15,573人（正組合員数4,377人、准組合員数11,196人）
○ 職 員 数	正職員176人 嘱託・臨時・パート職員91人 合計267人
○ 施設設置数	本店、支店（14支店）、カントリーエレベーター（2基） ライスセンター（3基）、水稻育苗施設、直売所（4カ所） 営農センター（2カ所）、野菜センター、自動車整備工場（オートパル） LPG・食材センター
○ 子 会 社 等	（株）JAファームたかさき
○ 販売品取扱高	18億8千万円
○ 購買品取扱高	17億3千万円
○ 貯 金 残 高	1,237億3千万円
○ 貸 出 金 残 高	303億2千万円
○ 長期共済保有高	3,065億6千万円



## ◇販売事業・購買事業の案内◇

### ○地場産農産物の販売促進

直売所“グル米四季菜館”や“フレッシュ・ベジたか”において消費者へのPR活動と地場産農産物の販売促進をしています。直売所は「安全・安心・新鮮な農産物」の消費者への提供と、小規模な生産者には少量・多品目の野菜を出荷する場でもあります。同時に、新規就農者や定年帰農者などの掘り起こしや対応も実施しています。

### ○学校給食へ農畜産物の供給

学校給食へ高崎産米の“特別栽培ゆめまつり”や野菜、農産加工品「高崎しょうゆ」「高崎ソース」などを供給し、食育にも積極的に取り組んでいます。

また、農産物収穫体験ツアー・畜産体験ツアーを実施して、地域住民へ農業の紹介と理解を深める活動を実施しています。



玉ねぎ収穫体験



親子畜産体験ツアー

### ○高崎で育った農産物を使用した加工品

原材料に高崎で生産された農産物(米・小麦・大豆・トマト・玉ねぎ)を使用した、農産加工品を“かたらい高崎シリーズ”と名付けて、直売所・百貨店・高崎駅売店などで販売して、好評を得ています。

#### “かたらい高崎シリーズ”商品の紹介

##### □高崎しょうゆ□

高崎産丸大豆・小麦を使用して長期熟成しました。

##### □高崎うどん□

厳選された高崎産小麦(きぬの波)を使用しています。

##### □高崎生パスタ□

目の前に広がる麦畑から高崎産小麦「きぬの波」100%使用の生パスタが出来ました。

原材料は、小麦、卵、塩だけです。安心、安全、美味しさを吟味したら、すべて国産材料になりました。



かたらい高崎シリーズの商品

JAたかさきでは、オリジナル商品(高崎うどん・高崎しょうゆ・高崎ソース・高崎生パスタ等)の宣伝、イメージアップと消費拡大のため、各種イベントに積極的に参加しています。